

私のすすめるこの1冊

杉井 潤子（家政科 教授）

『コミュニティの幸福論—助け合うことの社会学』

桜井 政成（著）

本書は、大学でボランティア活動やNPOを中心に研究し、コミュニティ福祉論などの授業を担当する著者がコロナ禍の続く2020年9月に上梓したものである。オンライン授業用テキストとして準備されたものがベースになっている。多くの人々が閉塞感と先行きへの不安を感じている社会状況をふまえて、本書は講義をするようなソフトな語り口で記述され、章ごとにコラムがあり、ポイントはイラスト等でわかりやすいように的確に解説されている。新たなコミュニティ学であり、生きづらさをかかえる現代日本の若者が幸せとともに希求していくための指南書でもある。

「人が誰かを助けることは、助けられた人にとってだけでなく、助けた人も幸せにする」（p.6）、「人と人との関わり合いは、幸せを生む可能性がある」（p.7）という学術的問いを立てて、個人化や多様化が進む現代社会におけるボランティア活動とコミュニティの内実を紐解く。

国際比較の結果からは、日本は見知らぬ人を助ける割合がきわめて低い。このことをふまえて、日本のボランティア活動はいわば「知り合い同士の、助け合いの活動」ととどまっていると指摘する。その背景には社会人類学者の中根千枝が説いた日本の人間関係の特徴である「ウチとソト」の論理が影響していると解く。それゆえに、助ける側の人には「助けを求める見知らぬ他者に気づけない人が多くいる可能性」（p.60）があり、また、助けられる側の人には「誰かから助けの

手を出してもらえても迷惑をかけたくないと思ひ、・・・助けが必要な場面なのに、ぎりぎりまでヘルプを出さない」（p.68）など、ソトの人に「助けを求め」「援助を受ける」ことで居心地の悪さ（心理的負債）を感じることもなっていると説く。

したがって、「助ける側の人には、ウエメセ（象徴的支配）にならないように気をつけなければならない」、「助けられる側の人には助けを求められない状況があるので、それを社会として、あるいはコミュニティとして解消する必要がある」（p.89）と問題提起する。

オンラインでのつき合いが増える若者にとっては、生きづらさを解消するためには社会的居場所が重要な役割を果たし、「人と話せて、安心でき、自分の存在や役割を確認できる場の重要性」（p.125）としてサードプレイス概念を取り上げる。しかし、家庭でもなく学校でもない「居場所」と考えられるのは実はインターネット空間である可能性が高いこと、「助けが必要な子供ほど、助けを得られるつながりも居場所もない現状」（p.137）を指摘する。

東日本大震災の事例等をもとに「レジリエンスなコミュニティ」を築くことのほか、「一人ひとりがどこかでは助けられる、あるいは助け合える関係性が社会でつくられること」（p.271）の重要性を説く。

学校現場での支援においても重要な気づきを促す好書である。一読をすすめたい。



「第3回教育展 大学の授業 ～国文学科から国語領域専攻～」(報告)

附属図書館では、令和元年度より教育展を開催しています。これは教育資料館との共催によるもので、令和元年度は「第1回大学の授業～教育学編～」(附属図書館主催)、令和2年度は「第2回「おかね」の歴史とデザインー京都教育大学所蔵古紙幣の世界一」(教育資料館主催)を企画・開催してまいりました。

本年度は国文学科(現在は大学の教員組織の名称)教員・京都教育大学国文学会の協力の下、「第3回大学の授業～国文学科から国語領域専攻～」を開催しました。昭和24年の新制大学発足以来70年を閉じた国語専攻の足跡をたどることを目的としました。歴代の教員の方々の系譜や業績、退官教員の肖像写真、国語専攻を母体として生まれた京都教育大学国文学会の学会誌60数冊、28名の卒業生の手記・思い出の記(冊子)、卒業論文、レポート類、授業で使用されたプリントや学生が授業の予習で使用した大漢和辞典の展示、学生が作成した京都の文学史跡のビデオ放映をご覧いただきました。

特筆すべきは、孫にあたる卒業生福山悠加さんが京都師範学校卒業生の祖父山内亨さんに執筆を勧めた戦争の手記の展示とそれにまつわる福山さんの手記(上記冊子所収)の配布でした。

本展は、西は熊本から東は群馬まで、広く300余名の参観者を得ることができました。事後の処理として、この展示会の記録ビデオの作成・編集を進め、希望者への配布の方法を検討しているところです。偶然ですが、このビデオには収録当日参観にいらした福山さん自身が登場し、解説を行っている場面も収められています。



＜歴代の教員の方々の系譜や業績、退官教員の肖像写真、国文学会誌＞



＜卒業論文、レポート類など＞



＜戦争の手記の展示＞

＜「少年期を戦争の中で育った私―孫の頼みに応える戦争体験記」＞
教育資料館所蔵



新聞記事データベース「聞蔵IIビジュアル」が「朝日新聞クロスサーチ」に

新聞記事データベース「聞蔵IIビジュアル」が全面リニューアルし、2022年4月より「朝日新聞クロスサーチ」に移行されることになりました。収録コンテンツは同じですが検索機能を強化したユーザーインターフェースになります。

3月1日より4月末まで並行稼働の予定です。どちらもご利用いただけます。

2022年3月1日「朝日新聞クロスサーチ」先行リリース

2022年4月1日「朝日新聞クロスサーチ」正式リリース

2022年4月末「聞蔵IIビジュアル」サービス終了(予定)

朝日新聞クロスサーチ <https://xsearch.asahi.com/login/>

聞蔵IIビジュアル <https://database.asahi.com/index.shtml>

(利用後はログアウトしてください。)



新着図書入っています

幼小接続資料集成、Google for Education や Microsoft Office を利用した ICT スキル本、歴史文化ライブラリー、教員採用試験、TOEIC、仏検のテキストなど多様な新着図書が入っています。

ぜひカウンター横の新着図書コーナーをご覧ください。同様の内容は京都教育大学附属図書館蔵書検索→新着図書からもご覧いただけます。

<https://www-std01.ufinity.jp/kyokyolib/>



返却いらず? 電子書籍は自宅からでも

自宅のインターネットからでも、大学契約の電子書籍データベースに Shibboleth 認証(学認)により学内と同様の条件で利用することができます。教育、研究にあわせてご利用ください。

学外から利用可能なデータベース

・ Maruzen eBook Library (TOEIC 対策本や教育分野、専門分野)

・ KinoDen (教育分野、専門分野)

・ EBSCO eBook (教育分野、専門分野)

・ Japan Knowledge (各種辞典や東洋文庫) など

詳細は「図書館ホームページ」→「学外からデータベースを利用するには」をご覧ください。 <https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/database/shibboleth.html>

京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第30回の報告

YouTubeで公開されました。

※現在も視聴できますのでどうぞ！

<https://www.youtube.com/watch?v=W81pBuW6310>

※YouTube公開のみです

【講師】日野陽子（美術科 准教授）

【テーマ】風の伝言ー学校と街でアートにできることー

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

2022年2・3月の投票期間は

2月1日（火）～3月15日（火）予定

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入しています。

児童書コーナー（南館1階）

幼児教育科主催
えほんのもし

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

今月の絵本カード（学生作）



『いえてだブヒブヒ』作・絵：柳生まち子
出版社：福音館書店



春季休業に伴う長期貸出について

学部生：1月28日（金）～4月4日（月）
院生・教職員：1月14日（金）～3月22日（火）【返却期限日】4月18日（月）まで
※卒業・修了予定者は3月10日（木）まで



卒業・修了予定の方へ

1. 貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は3月10日（木）までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことにより、3月25日（金）まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

2. 卒業後の図書館利用について

卒業生利用者としてご利用いただけます。利用証の申請書は卒業式（修了式）で配布し、当日から利用証を発行できますので、ご希望の方はお申込みください。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

※3月末に卒業・修了しない方で、貸出中の図書のリターン期限日が3月10日（木）の場合は、4月18日（月）に変更されます。図書館への申出は不要です。



ご退職・ご転出予定の方へ

本学教職員の方の利用証は在籍期間に限り有効です。ご退職・ご転出予定の方は在籍期間中に本をご返却ください。なお、今後も一般利用者として附属図書館をご利用いただけます。ご希望の方は申請してください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品（2・3月）

『ローラン検糖計』

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>



【web開催】第12回 京都教育大学附属学校園こども美術作品展

会期：2月16日（水）～3月31日（木）主催：京都教育大学こども美術作品展運営委員会

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/news/2022/02/web-3.html>



京都教育大学紀要(大学発行の学術雑誌)に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 鈴木 祥子 (理学科 准教授)

「ブルーベリーから抽出した pH 指示薬：家庭でできる pH を調べる化学実験」

鈴木 祥子

京都教育大学紀要 2021, No. 139, pp. 85-92.

新型コロナウイルス感染症の流行によって、我々は暮らしの中で行ってきた「やり方」を変えざるを得ないことが多々ありました。特に世界的に流行し始めた2020年は、この新たな感染症に対してワクチンや治療薬もなく、とにかく感染を広げないために人同士の接触機会を減らす方策をとらざるを得ませんでした。その対策として大学や各学校でオンライン授業などが実施されてきました。化学分野の実験においても実験室での密集状態を避けるため、家庭などで実施可能な実験課題はできないかと考え、小学校教科内容論理科から溶液の性質(酸性・中性・アルカリ性)を調べる実験について検討しました。溶液の性質を調べる方法の一つにはpHで色が変化する指示薬を使う方法があり、例えばリトマス試験紙や、BTB溶液、ムラサキキャベツ色素などが用いられております。家庭などで用いるには、これらの中で食物由来のムラサキキャベツ色素が適していますが、受講生が各々準備して観察可能な指示薬を調製するのは不可能です。またムラサキキャベツはそれほど入手し易いものではないことから、他の身近な食物を用い、予め調製し保存可能で、家庭でも安心して使える指示薬を検討しました。ムラサキキャベツの代替色素源には年間を通して入手容易な冷凍ブルーベリーが使用でき、抽出溶媒にホワイトリカーなどとして入手可能なエタノールを用いて、使用及び後処理も家庭で行うことができる指示薬となりました。本論文では他の色素源の検討や指示薬とした際の溶液の様子なども報告しています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 139号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2022年3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

3/2 館内整理日

3/12 学部後期入試

3/25 卒業式

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2022年4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4/7 入学式

4/12 前期授業開始

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

●携帯版 OPAC

(QRコード→)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.258 (2022年3月号)

発行日: 2022年3月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

